

海の中から地球が見える

私たちは2012～2013年度、埼玉の水源地を守る活動として「水のトラスト」運動に参加してきました。また、紙芝居「水のしずく」を制作し、**出前講座「森と水のおはなし館」**を各地で開催、森があることの意味と大切さを伝えてきました。2015年度には**水ジャーナリスト 橋本淳司さん**の「水の連続講座」、**山に木を植える漁師 畠山重篤さん**の講演会「森は海の恋人」を開催、2016年度からは山で生まれた水が、私たちの手元に届くまでを知りたいと、埼玉県を源流とする荒川をたどる旅「**荒川フィールドワーク**」を4回にわたり開催、東京湾までをたどりました。

今回、ダイビングスクールを主宰しながら情報発信を続ける**武本匡弘**さんをお迎えし、海の中からは陸上の環境がどう見えるのか、また、私たちの知らない視点を教えていただきたいと考えます。

日時：2018年**2月3日**(土) 13:30～16:00
(開場 13:00)

会場：生活クラブ生協・埼玉本部 (2階会議室) ※下図参照



対象：組合員・一般の方
定員：100名 参加費：200円(資料代)
託児有：但し締切りは1月19日(金)
エッコロ制度加入者は無料(当日加入可)
未加入の方は、お子さん1人につき500円
参加申込：当日参加を歓迎します。ただし準備の都合上、なるべく1月31日(水)までの参加申込みにご協力ください。
申込・問合せ：生活クラブ埼玉本部 電話：048-839-4881
森と水の実行委員会担当

武本匡弘氏 プロフィール

プロダイバー。1985年ダイビング会社開設
1999年 特定非営利活動法人 パパギ海と自然の教室 設立
東海大学教養学部 人間環境学科 環境総合演習を担当する他、これまで延べ70数校の小中高、私立公立各校において、総合学習の海の環境授業などを行ってきた。

2009年より祝島・上関原発建設予定地の海で3年間潜り記録撮影、奇しくも最後の潜水が2011年3月11日だった。

その後、写真展を開催。数回にわたるマーシャル諸島への渡航の後、2016年～17年、自ら操船する帆船で日本～マーシャル諸島～ミクロネシア巡航を行い国際交流、気候変動による海の変化等を見てきた。

- ・日本サンゴ礁学会会員
- ・(公財)第五福竜丸平和協力協会 協力会員



●会場：生活クラブ生協・埼玉本部
JR 埼京線
中浦和駅より徒歩約3分

